MedPeer

Press Release

医師 2,000 人超の調査結果を多数掲載中です
https://www.facebook.com/medpeer

2013年8月12日
メドピア株式会社

「マダニ咬傷の処置方法」について
6割以上は他院・他科に紹介している

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、https://medpeer.jp/）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「マダニ咬傷の処置方法」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「マダニ咬傷の処置方法」について（総回答：3,116人）

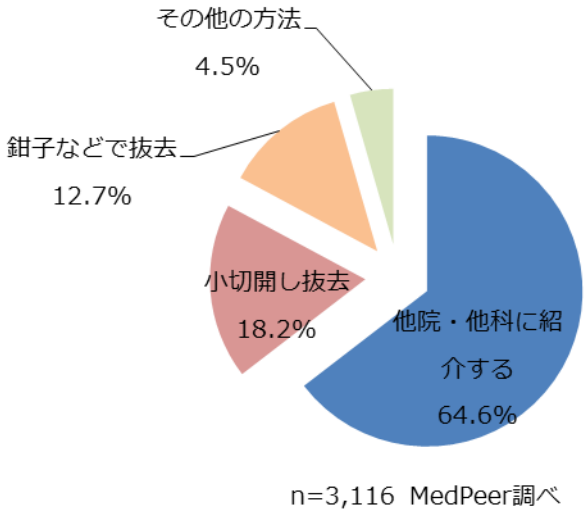
順位	回答	回答数（人）	占有率
1	他院・他科に紹介する	2,012	64.6%
2	小切開し抜去	569	18.2%
3	鉗子などで抜去	395	12.7%
4	その他の方法で処置する	140	4.5%
-	合計	3,116	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（6万人以上）を対象に**「マダニ咬傷の処置はどのように行うのが良いのでしょうか」**という質問をしたところ、**3,116**件の回答が寄せられた。
- 最も多かったのは、「他院・他科に紹介する」で64.6%。外科や皮膚科に紹介するというコメントがみられた。院内で、「いじらずに、外科へ」という方針を徹底させている例もみられた。
- 「小切開し抜去」は18.2%。「ウイルス、細菌感染、アレルギー反応を考えると切開し抜去が望ましい」「皮膚を一部付けて完全に摘除している」といったコメントがあった。
- 「鉗子などで抜去」は12.7%で、口器が残らないように注意しながら「少し回転を加えながらはがす」「鉗子でゆっくりとればすべてとれる」といった意見がある。

■　「その他の方法で処置する」は4.5%。「ワセリンで窒息させる」「線香で焼く」「ダニパンチで処置」「アルコール綿で15分くらい密封」といった方法が紹介されている。

▼総合結果



n=3,116　MedPeer調べ

回答コメント（回答一部を抜粋）

「他院・他科に紹介する」　2,012件

・自分の科では抗生物質を投与し、皮膚科に行くようにお話しています。（30代、一般内科）
・実際には経験したことがないのでわかりませんが、紹介すると思います。（40代、整形外科・スポーツ医学）
・都市部に勤務しているので、いままでマダニの咬傷の症例を経験したことがありません。（40代、整形外科・スポーツ医学）
・処置後の経過が悪いと死亡の恐れがあるので専門医に紹介する。（60代、放射線腫瘍科）
・皮膚科に相談できるなら相談して、無理そうなら小切開すると思います。（20代、循環器内科）
・最近では特に、設問のように重症熱性血小板減少症候群等の疾患が取り沙汰されるようになり、マダニ咬傷以外でも念のため紹介するようにしています。(50代、一般内科)
・当地では、ツツガムシもあり、積極的に取り組んでいる病院がある。(60代、一般外科)
・ペアンなどでいじらず外科へ、とカンファレンスで強調があったばかり。（20代、小児科）

「小切開し抜去」　569件

・口器が残るといつまでも発赤が消えないと習いました。実際、教え通りに数人に対して処置を行っております。いずれもうまくいきました。（40 代、乳腺・内分泌外科）
・麻酔した後、皮膚を一部付けて完全に摘除しています。（30 代、消化器外科）
・鉗子で少し引っ張っても取れないときには、小切開します。（50 代、消化器内科）
・抜き取るのは危険です。ダニの体の一部が残るからです。ほんの少しの小切開で十分ですので、手間もありません。（50

代、一般内科）

・口器は抜けづらいので小切開して必ず抜くことにしてます。（50 代、一般内科）

・ウイルス、細菌感染、アレルギー反応を考えると切開し抜去が望ましいでしょう。（50 代、神経内科）

・AHA ファーストエイドでは引っ張れとなっていますが、医療機関では小切開が望ましいのでは。（40 代、循環器内科）

・地方の総合病院勤務時は自分で処置をしていましたが、皮膚科の先生が作成したマニュアルに従い、局麻、小切開し口器が残らないように切除していました。（40 代、精神科）

・近隣の大学病院より、切開して除去が適当であるとの連絡がありました。（40 代、整形外科・スポーツ医学）

・医者になる前に、マダニに咬まれたことあります。ひっぱって取りましたが、口器が残っていたらしく、アレルギー性の皮膚潰瘍となり、治癒に長期間要しました。切開除去が一番と思います。（50 代、整形外科・スポーツ医学）

・無理やり鉗子などで引っ張ると、頭と胴体がちぎれて頭部が残ってしまったことがあります。それ以後切開して周りの汚染組織とともに除去しています。（40 代、一般内科）

・マダニに咬まれた皮膚を周囲 2-3mm はマージンをとって切除するようにしております。SFTS 以外にも、ライム病などの恐れがあります。(30 代、皮膚科)

・口器完全抜去が必ず必要と思います。局所麻酔を行い、ピンク針などで切れ目を入れてモスキート鑷子を用いれば簡単に完全抜去できます。（50 代、一般内科）

・頭部を残さぬよう、鉗子等で除去できない場合には局所麻酔下の処置を厭わずに実施しています。メスの代わりに 18G 注射針でくり抜くのも有効です。（50 代、整形外科・スポーツ医学）

「鉗子などで抜去」　395件

・以前は切開をしていましたが、鉗子でゆっくりとればすべてとれますので、今は切開はしません。（40代、産婦人科）

・口器が残っているようなら、まずは鉗子などで抜去ではないでしょうか。先日診察した方は、残っていないようでしたので、消毒だけにしましたが…。(50代、消化器外科)

・拡大鏡で確認して抜きます。切開まではしないですが絞ります。（50代、麻酔科）

・カンシでとりますが、無理な時はリドカインスプレーして被覆フィルムでおおっちゃいます。(30代、腎臓内科・透析)

・口器が残らないように注意はしますが鉗子だけで取ることが多いです。（50代、総合診療）

・マダニ除去のスティックがあります。海外サイトからの直接購入になりますが。（40代、皮膚科）

・マダニが残っていれば、優しく把時して、少し回転を加えながらはがします。無理に除去すれば口もとが残り、慢性炎症は瘢痕になることがあります。（40代、一般内科）

・キシロカインで麻酔をきかせるとポロっと取れやすくなります。（50代、眼科）

・まずは鉗子などで除去トライ。基本的にマダニで悪化するのは全例ではないので、数日間は受診してもらいフォローが必要。（40代、泌尿器科）

「その他の方法で処置する」　140件

・メスで切開して抜去か、デルマパンチで周囲の皮膚ごと切除するかです。（30 代、皮膚科）

・マダニを含めてワセリンを厚く塗布し、30 分ほど放置後、ワセリンをふき取ります。たいていマダニは窒息して死んでいますので、簡単にとれます。ダメなら局所麻酔下に切開して抜去します。（60 代、麻酔科）

・薬用アルコールを浸したガーゼで覆い、動き出したところをピンセットで挟み取ります。(50 代、一般内科)

・救急など皮膚科医にコンサルトできない状況であれば、キシロカインスプレーやアルコールを使って、虫が活動しない状態にして虫体を残さないように抜去します。（40 代、膠原病科）

・ダニパンチで除去する。（30 代、消化器外科）

・マッチの火を消して、まだ先が光っているのを虫に押し付けるとポロット取れます。(70 代、代謝・内分泌科)

・アルコール綿で 15 分くらい密封するように覆って、その後に摂子で除去する。(50 代、循環器内科)

MedPeer

※調査方法

□期間：

2013年7月17日（水） ～ 2013年7月23日（火）

□有効回答：

3,116人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

マダニ咬傷の処置方法について質問です。先日マダニに咬まれた症例があり、小切開して口器ごと抜去しました。抜去の際に参考した文献には、「口器が少々残っても問題ない」という記載がありましたが、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）などの症例を考えると、完全抜去のほうが良いのではないかと判断しました。

事実、マダニ咬傷の処置はどのように行うのが良いのでしょうか。

以下の選択肢より適当なものをご選択いただき、その理由をコメント欄にご記載ください。

---

1. 小切開し抜去
2. 鉗子などで抜去
3. その他の方法で処置する
4. 他院・他科に紹介する

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社　管理部　TEL：03-6805-0345　/ e-Mail：info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。

・web 上での引用に際しましては、https://medpeer.jp へのリンクをお願い致します。

MedPeer

■MedPeer（メドピア）とは　- 2013年7月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: https://medpeer.jp/）。
会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、”臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 6 万人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 1,700 の医療用医薬品に対して、25 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上